

# 共助社会づくり支援事業

NPO法人が実施主体となり、市町村や自治会、社会福祉協議会、任意団体などの3主体以上が連携し、地域課題を解決するために取り組む助成事業です。

事業名 | ネイチャーはぴはぴ

法人名 | 特定非営利活動法人子育て家庭支援センターあいくる [入間市]

## 連携団体名

入間市こども支援部 こども政策室  
社会福祉法人青芳会 鍵山苑

総事業費 570,251円

助成額 455,000円

## 活動内容

入間市駅近くに拠点を構える子育て家庭支援センターです。誰でも気軽に遊びに来ることのできる常設広場と、神社やお寺に曜日ごとに訪れる出張広場を市内に8か所開設しています。子育て親子に寄り添い、地域と繋がりながら活動しています。

## 事業取組

既存の子育て支援施設がない地域に、子育て中の親子を対象とした遊び場を開設しました。特別養護老人ホームと連携し、その敷地を含む雑木林や入間川など、入間市に残る豊かな自然の中での遊びを行いました。季節に合わせて、川遊び、雑木林での遊び、土手滑りなどを展開しました。また、老人ホーム内に訪問し乳幼児と高齢者がともに楽しめる人形劇や触れ合い遊びを行いました。事業の最後には、市内の百貨店にて、入間市内の自然の中で遊ぶ親子の写真展を開催しました。

## 事業成果

多くの親子が入間市の豊かな自然を知り、そこで遊ぶ楽しさを実感するとともに、乳幼児親子と高齢者の間に、多くの交流が生まれました。来年度は週に1回の出張広場として、毎週開催することとなりました。この広場が地域の親子の居場所となっていくことでしょう。



事業名 | 子ども遊びの広場(子どもの居場所・健康・食育を支援する)

法人名 | 特定非営利活動法人街のひろば [三芳町]

## 連携団体名

三芳町社会福祉協議会  
三芳町中央公民館

## 活動内容

任意団体として日本語を母語としない児童生徒に向けた「日本語指導」、学習環境づくりや居場所を中心とした「子ども学習広場」を行い、2013年NPO法人を設立しました。その後も活動をさらに充実させ、教育的・精神的・経済的支援を必要とする人々を対象に、学習支援、居場所、情報の提供、生活相談、生活支援活動を続けています。

## 事業取組

(1)文京学院大学との協働したスポーツ開放の場を8年継続して実施しています。子どもたちにとって大学生と関わることで、親や先生とは違った関係を築きました。(2)新事業、「子ども遊びの広場」を開設しました。家で閉じこもりがちな子どもの居場所を作るため土曜日の午後に公民館ホールで卓球や遊びのフリースペースを開放しました。子ども自身の手で卓球、バドミントンやトランプ、絵画、編み物、ギターなど自由な活動が展開され、充実したフリースペースとなりました。(3)子どもの健康のため、順天堂大学との外国人健康相談会を実施し、外国人健康相談会では病院に行きづらい母親の病気の発見につながりました。また、食育講座では、孤立しがちなひとり親家庭の交流の機会となりました。

## 事業成果

公民館の職員、社会福祉協議会の職員による場所の確保や地域の方との連携や広報など多くの協力を得て、子どもの居場所が定着しました。今年度は備品も充実させることができ、この事業での繋がりを大切にして、今後の活動を発展させていきます。

総事業費 623,809円

助成額 499,000円



助成件数

4件

助成金額合計

1,954,000円

各事業の採択団体からの事業報告書はホームページ「NPOコバトンびん」に公開しています。(※「NPOコバトンびん」についてはP13を御覧ください)

## 事業名 | I・Me・Mine ~自分がじぶんでいられる居場所~プロジェクト

法人名 | 特定非営利活動法人パープルネットさいたま [さいたま市]

### 連携団体名

NPO法人C.Cスペース  
ぐーちょきぱーてい  
さいたま市セーフコミュニティ DV  
防止対策委員会

総事業費

625,529円

助成額

500,000円



### 活動内容

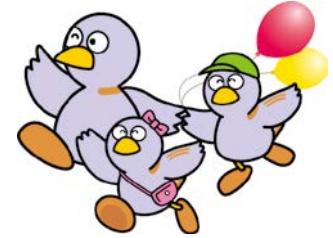
私たちは、DVなどの暴力被害を受けたことで心に傷を負った女性とその子どもたちに寄り添いながら、心のケアや自立を支援していく活動をしています。また、DVは重大な人権侵害であること、お互いを尊重し、多様性を認めることができることを、社会に啓発する活動もしています。

### 事業取組

DVの問題は自分とは関係のない問題であると思われがちです。DVの問題を知って欲しい地域のキーマンや子育て世代へ出張講座を5回実施しました。参加者のほぼ全員の方からDVについて新たに知ったり、気づいたことがあったとの声をいただき、非暴力を学んだセンター(ぱあぶるセンター)が73名増えました。そして、孤立しがちなDV被害を受けた女性や子ども達が安心して話のできる居場所(アイミーマイン)を5回実施し、継続的に支援することができました。また、DVの支援を軸とした横のつながりを作るネットワーク作りやボランティア希望者とつながる場(ばらカフェ)も実施しました。

### 事業成果

今までつながることのなかった他分野の団体とつながり、問題を共有することができたことは大きな成果です。アイミーマインプロジェクトの3つの活動はどれも必要な事です。DV被害者支援の専門家である私たちだからこそできる活動を行政や他団体を巻き込み、継続的に実施していきたいと考えています。



## 事業名 | NPO・地域・大学の協同による生活困窮者等を対象にした居場所づくり事業(いこいの会)

法人名 | 特定非営利活動法人ほっとプラス [さいたま市]

### 連携団体名

さいたま市教育委員会  
(さいたま市五反田会館)

筑波大学小澤温研究室



### 活動内容

「すべての人がほっとできる社会」を目指し、主に生活困窮者を対象とした生活相談、住まいの提供、グループホームの運営、居場所づくり、貧困問題に関する講演や社会への発信等を行っています。

### 事業取組

#### ①いこいの会

孤立しない地域づくりを目的に、居場所づくりを兼ねた交流会を月1回(計6回)開催しました。身寄りのない方や生活保護受給者を主な対象とし、食事作りと医師や看護師等の専門職による講座を開設しました。

#### ②セミナーの開催

「若者の貧困とソーシャルアクション」「ソーシャルワークと多職種連携」というテーマでセミナーを2回開催しました。貧困問題を理解するために必要な視点やアプローチ方法に関して講演をしました。

### 事業成果

いこいの会では「みんなで食べるご飯は美味しい」「気軽に相談できる場があってありがたい」という声、セミナーでは「貧困問題を身近に感じることができた」という声をいただきました。引き続き貧困問題の解消に向け活動を続けていきます。



総事業費

633,127円

助成額

500,000円

